

HANKYU HANSHIN LETTER

株主通信

2009年12月発行・VOL.13



【阪急レールウェイフェスティバル】

阪急電鉄・阪神電気鉄道をはじめとする当社グループの鉄道各社では、年に数回、駅や車庫、工場等でお客様向けのイベントを開催しております。これらを通じて、子ども達をはじめ、ご参加の方々に鉄道やバスを身近に感じていただき、また環境負荷の低い公共交通への理解をより深めていただければと思っております。



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

2009年度第2四半期の連結決算は、景気の低迷や新型インフルエンザの影響等により、旅行・国際輸送事業やホテル事業等が厳しい状況で推移し、また第1四半期決算でもご説明したとおり、持分法のれん相当額の一括償却により多額の特別損失を計上したこと等もあって、収益・利益面ともに前年同期を下回る結果となりました。通期の業績見通しも、外部環境が引き続き厳しいと予想されることから、上記の事業のほか、都市交通事業等でも厳しく推移するとみており、それらを踏まえて今般、7月に発表した予想数値もそれぞれ下方修正させていただきました。

株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、引き続き業績の回復に向けてグループ一丸となって取り組んでまいりますので、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

さて、当社グループの大規模プロジェクトとして建替工事を進めている阪急電鉄株の梅田阪急ビルでは、9月3日より、阪急百貨店うめだ本店がI期棟での営業を開始いたしました。お蔭様で連日多くのお客様にご来店いただき、まずは順調なスタートを切ることができたと思っております。

また、10月1日からは、エイチ・ツー・オー リテイリンググループと共同で、「阪急阪神エメラルドSTACIAカード」の発行を開始するとともに、各種STACIAカードを阪急・阪神の百貨店や電車などでご利用いただく最大でご利用金額の3%のSTACIAポイントを進呈する「STACIAポイントサービス」を開始いたしま

した。同社グループとは、こうした取組等を通じて今後もより密接に連携し、沿線価値・グループ価値のさらなる向上を図ってまいりますと考えております。

このほか、当社グループの社会貢献活動「阪急阪神未来のゆめ・まちプロジェクト」の一つとして取り組んだ阪急電鉄株による環境メッセージ列車「エコトレイン 未来のゆめ・まち号」が、11月6日、グリーン購入大賞において最高の賞となる「環境大臣賞」を受賞いたしました。この取組では、沿線自治体や企業、市民団体など多くの方々と協力し合ったことも大きく評価されました。

当社グループでは、今後も地域社会に育まれながら事業の発展を図ることにより、将来にわたってご支持いただける企業グループを目指してまいりますので、株主の皆様におかれましては、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

2009年12月



代表取締役社長

角 和 夫

目 次

| | |
|---|----|
| 株主の皆様へ | 1 |
| 2009年度第2四半期 連結決算の概要 | 2 |
| 梅田阪急ビル 百貨店I期棟竣工 | 9 |
| 10月1日より、百貨店でも電車でもポイントを進呈する「STACIAポイントサービス」を開始いたしました | 11 |

| | |
|------------|----|
| トピックス | 12 |
| 逸翁美術館のご案内 | 18 |
| 環境保全への取り組み | 18 |
| 株主メモ | 19 |

▶ 経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、一部の経済指標において回復の兆しが見られるものの、企業収益が低水準で推移するなか、設備投資の減少や雇用・所得環境の悪化等により、厳しい状態が続きました。

この間、当社グループにおきましては、2012年度を目標年度とする「阪急阪神ホールディングスグループ2007中期経営計画」を実現すべく、グループ経営機能を担う当社の下、中核会社を中心に、各コア事業の競争力強化を図るとともに、コア事業間の連携を通じてグループ総合力の発揮に努めました。

しかしながら、景気の低迷や新型インフルエンザの影響等により旅行・国際輸送事業やホテル事業等が厳

しい状況で推移し、また不動産事業においてマンション分譲戸数が前年同期を下回ったこと等により、営業収益は3,263億13百万円と前年同期に比べ170億56百万円減少いたしました。営業利益は、各コア事業ともコストの削減に努めましたが、減収による影響に加えて、減価償却費の増加等により425億75百万円と前年同期に比べ85億84百万円減少し、また経常利益は336億57百万円と前年同期に比べ92億54百万円減少いたしました。四半期純利益は、持分法適用関連会社株式に計上されていた持分法のれん相当額を一括償却し、特別損失に計上したこと等により89億28百万円と前年同期に比べ164億18百万円減少いたしました。

(単位：百万円)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 |
|-----------------|----------|---------|---------|----------|
| 2009年度(第2四半期累計) | 326,313 | 42,575 | 33,657 | 8,928 |
| 対前年同期増減額 | △ 17,056 | △ 8,584 | △ 9,254 | △ 16,418 |
| 対前年同期増減率 | △ 5.0% | △ 16.8% | △ 21.6% | △ 64.8% |

▶ 財政状態の概況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、受取手形及び売掛金が減少いたしました。設備投資や神戸高速鉄道(株)の連結子会社化に伴い有形固定資産が増加したこと等により2兆3,256億83百万円と前連結会計年度末に比べ183億51百万円増加いたしました。負債合計は、設備投資関係等の未払金が減少した一方で、有

利子負債が増加したこと等により1兆8,448億86百万円と前連結会計年度末に比べ114億33百万円増加いたしました。また、純資産合計は、利益剰余金の増加等により4,807億96百万円と前連結会計年度末に比べ69億18百万円増加し、自己資本比率は20.2%となりました。

| | 総資産 百万円 | 純資産 百万円 | 自己資本比率 % | 1株当たり純資産 円 銭 |
|--------------|------------|------------|-------------|-----------------|
| 2009年度第2四半期末 | 2,325,683 | 480,796 | 20.2 | 372.15 |
| 2008年度末 | 2,307,332 | 473,878 | 20.1 | 366.96 |
| 比較増減 | 18,351 | 6,918 | 0.1 | 5.19 |

※当社グループでは自己資本比率を(自己資本)÷(総資産)として算出しております。なお、自己資本は、純資産から少数株主持分を差し引いた金額を表しております。

2009年度第2四半期 連結決算の概要

▶ 連結貸借対照表

| | | 2009年9月30日現在 | |
|-------------------|------------------|-------------------|------------------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| 資産の部 | 百万円 | 負債の部 | 百万円 |
| 流動資産 | | 流動負債 | |
| 現金及び預金 | 28,903 | 支払手形及び買掛金 | 41,825 |
| 受取手形及び売掛金 | 72,683 | 短期借入金 | 294,686 |
| 販売土地及び建物 | 129,205 | 未払法人税等 | 4,795 |
| 商品及び製品 | 8,512 | 賞与引当金 | 5,174 |
| 仕掛品 | 9,295 | その他 | 184,147 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,760 | 流動負債合計 | 530,629 |
| その他 | 49,987 | 固定負債 | |
| 貸倒引当金 | △ 3,254 | 社債 | 95,000 |
| 流動資産合計 | 299,093 | 長期借入金 | 851,268 |
| 固定資産 | | 退職給付引当金 | 58,939 |
| 有形固定資産 | | 役員退職慰労引当金 | 703 |
| 建物及び構築物(純額) | 612,359 | 投資損失引当金 | 6,806 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 58,145 | その他 | 301,539 |
| 土地 | 867,833 | 固定負債合計 | 1,314,257 |
| 建設仮勘定 | 123,216 | 負債合計 | 1,844,886 |
| その他(純額) | 15,634 | 純資産の部 | |
| 有形固定資産合計 | 1,677,190 | 株主資本 | |
| 無形固定資産 | | 資本金 | 99,474 |
| のれん | 45,157 | 資本剰余金 | 150,027 |
| その他 | 18,954 | 利益剰余金 | 230,254 |
| 無形固定資産合計 | 64,112 | 自己株式 | △ 4,105 |
| 投資その他の資産 | | 株主資本合計 | 475,650 |
| 投資有価証券 | 230,864 | 評価・換算差額等 | |
| その他 | 61,741 | その他有価証券評価差額金 | △ 6,157 |
| 貸倒引当金 | △ 7,317 | 繰延ヘッジ損益 | △ 583 |
| 投資その他の資産合計 | 285,287 | 土地再評価差額金 | 1,977 |
| 固定資産合計 | 2,026,590 | 為替換算調整勘定 | △ 1,436 |
| | | 評価・換算差額等合計 | △ 6,200 |
| | | 少数株主持分 | 11,346 |
| | | 純資産合計 | 480,796 |
| 資産合計 | 2,325,683 | 負債純資産合計 | 2,325,683 |

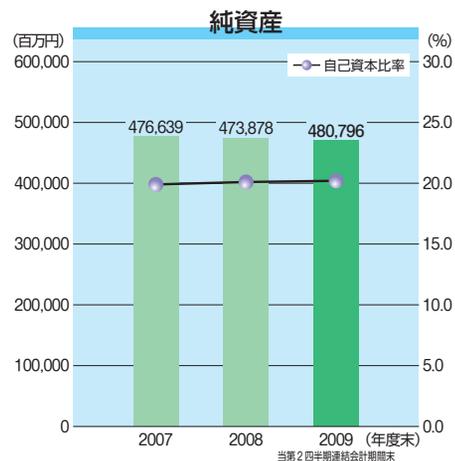
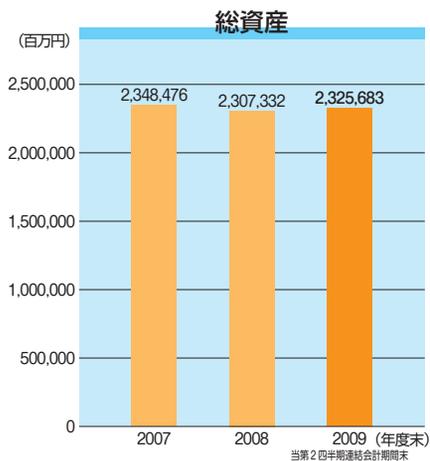
(注1)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
 (注2)消費税等の会計処理は税抜き方式によっております。

▶ 連結損益計算書

| | | 2009年4月1日から2009年9月30日まで | |
|---------------------|----------------|-------------------------|-----|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| | 百万円 | | |
| 営業収益 | 326,313 | | |
| 営業費 | | | |
| 運輸業等営業費及び売上原価 | 267,008 | | |
| 販売費及び一般管理費 | 16,729 | | |
| 営業費合計 | 283,738 | | |
| 営業利益 | 42,575 | | |
| 営業外収益 | | | |
| 受取利息 | 84 | | |
| 受取配当金 | 468 | | |
| 負ののれん償却額 | 18 | | |
| 持分法による投資利益 | 2,290 | | |
| 雑収入 | 1,071 | | |
| 営業外収益合計 | 3,933 | | |
| 営業外費用 | | | |
| 支払利息 | 12,012 | | |
| 雑支出 | 838 | | |
| 営業外費用合計 | 12,850 | | |
| 経常利益 | 33,657 | | |
| 特別利益 | | | |
| 固定資産売却益 | 271 | | |
| 工事負担金等受入額 | 1,848 | | |
| 匿名組合投資利益 | 8,252 | | |
| その他 | 402 | | |
| 特別利益合計 | 10,775 | | |
| 特別損失 | | | |
| 固定資産売却損 | 9 | | |
| 固定資産圧縮損 | 1,829 | | |
| 固定資産除却損 | 4,528 | | |
| 投資損失引当金繰入額 | 313 | | |
| 持分法ののれん相当額一括償却額 | 10,264 | | |
| その他 | 2,948 | | |
| 特別損失合計 | 19,895 | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 24,538 | | |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,314 | | |
| 法人税等調整額 | 11,217 | | |
| 法人税等合計 | 15,532 | | |
| 少数株主利益 | 77 | | |
| 四半期純利益 | 8,928 | | |

(注1)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
 (注2)消費税等の会計処理は税抜き方式によっております。

2009年度第2四半期 連結決算の概要



2009年度第2四半期 連結決算の概要

▶ セグメント別営業成績

当第2四半期連結累計期間のセグメント別営業成績は以下のとおりとなりました。

都市交通事業

連結対象会社24社

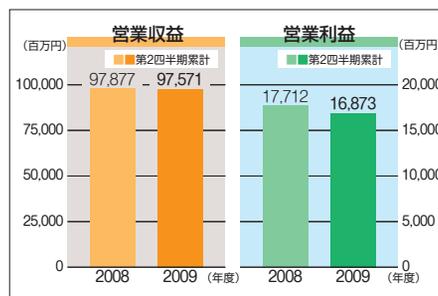
主要な会社 阪急電鉄、阪神電気鉄道、阪急バス、阪神バス等

鉄道事業では、2009年3月に開通した阪神なんば線が順調なスタートを切ったほか、当社グループ内での一体運営を企図して神戸高速鉄道株式会社を連結子会社化するなど、鉄道ネットワークの拡充に努めております。

また、阪神住吉・芦屋間連続立体交差事業等を推進するなど、鉄道施設の整備・改善に努めるとともに、夏休み・シルバーウィーク期間中に、企画乗車券を発売するほか、スタンプラリーを実施するなど、旅客誘致を目的とした各種施策にも取り組みました。

バス事業では、2009年3月から阪急バス・阪神バスが発行するバスカードの全券種を共通化し、販売促進に努めるなど、お客様の利便性の向上を図りつつ、事業の収益力強化を図りました。

しかしながら、景気の低迷や新型インフルエンザの影響等により営業収益は975億71百万円と前年同期に比べ3億6百万円減少いたしました。また、営業利益は、減収による影響や減価償却費等の費用の増加等により168億73百万円と前年同期に比べ8億39百万円減少いたしました。



不動産事業

連結対象会社17社

主要な会社 阪急電鉄、阪神電気鉄道、阪急不動産、阪神不動産、阪急阪神ビルマネジメント等

マンション分譲事業では、「ジオ グランド茨木東中条さくら通り」、「ザ・千里タワー」等を、宅地分譲事業では、「箕面・小野原レジデンス」、「宝塚山手台レジデンス」、「ハピアガーデン東加古川」等を分譲いたしました。

賃貸事業では、2008年11月に開業した「阪急西宮ガーデンズ」が堅調に推移いたしました。また、建替工事を進めている梅田阪急ビルでは、百貨店I期棟が竣工し、9月から阪急百貨店が営業を開始いたしました。さらに、グループ各社が保有するオフィスビル・商業施設においても、稼働率の維持に注力しながら、管理運営コストの削減に取り組みしました。

なお、梅田阪急ビルでは、引き続き建替工事を進めており、また大阪駅北地区(梅田北ヤード)等の大規模開発事業につきましても、鋭意推進しております。

しかしながら、マンション分譲事業において、分譲戸数が前年同期を下回ったこと等から、営業収益は825億23百万円と前年同期に比べ56億87百万円減少し、営業利益は174億22百万円と前年同期に比べ37億84百万円減少いたしました。



エンタテインメント・コミュニケーション事業

連結対象会社16社

主要な会社 阪急電鉄、阪神電気鉄道、阪神タイガース、宝塚クリエイティブアーツ、ベイ・コミュニケーションズ等

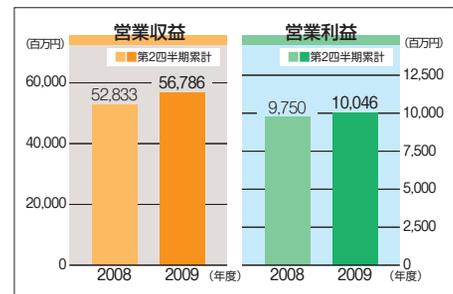
スポーツ事業では、阪神タイガースが、クライマックスシリーズ進出をかけたシーズン終盤まで健闘し、多くのファンの方々にご声援をいただきました。また、阪神甲子園球場では、銀傘の架け替えやアルプス・外野エリアを中心とした第Ⅱ期リニューアル工事の完了(2009年3月)により、内外野ともに快適な観戦環境が整い、好評を得ました。

歌劇事業では、初演以来7度目となる月組公演「エリザベート」が特に好評を博すなど、各公演とも好調に推移いたしました。また、演劇事業では、梅田芸術劇場において、ミュージカル「AIDAアイダ」や「ムサシ」など、話題性のある公演を催しました。

ケーブルテレビ事業では、トリプルプレイ(多チャンネル・インターネット・電話)サービスの営業に注力したことに加え、6月から開始した「DVD楽録り」サービスが好評であったこと等から、加入契約者数を順調に伸ばしました。

さらに、六甲山上施設では、「六甲山のスイスフェア」や夏の特別展「宮沢賢治の音楽世界－風景とオルゴール」を開催するなど、魅力ある施設運営と集客活動に努めました。

これらの結果、営業収益は567億86百万円と前年同期に比べ39億52百万円増加し、営業利益は100億46百万円と前年同期に比べ2億96百万円増加いたしました。



旅行・国際輸送事業

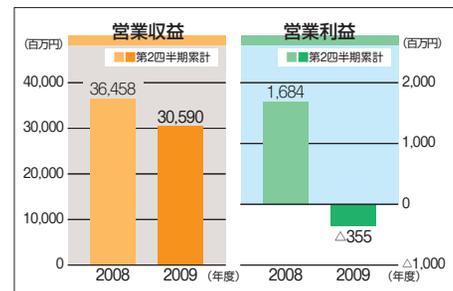
連結対象会社27社

主要な会社 阪急阪神交通社ホールディングス、阪急交通社、阪神航空、阪急エクスプレス、阪神エアカーゴ等

旅行事業では、新型インフルエンザの発生により、海外旅行を中心に予約キャンセルが相次ぎ、大幅な減収となりました。その後、企画商品の投入を積極的に努めたこと等により、集客状況は好転してきましたが、新型インフルエンザの影響を払拭するまでには至りませんでした。

国際輸送事業では、航空輸送において、昨秋以降の世界経済の急速な悪化による大幅な需要の減少に底入れの兆しが見え、アジアを中心に荷動きが戻りつつありますが、欧米発着の荷動きは依然として低調に推移いたしました。また、海上輸送においても、緩やかな回復傾向にはあるものの、引き続き低調に推移し、事業全体としては厳しい結果となりました。

これらの結果、営業収益は305億90百万円と前年同期に比べ58億68百万円減少し、営業損益は3億55百万円の損失と前年同期に比べ20億39百万円悪化いたしました。



2009年度第2四半期 連結決算の概要

ホテル事業

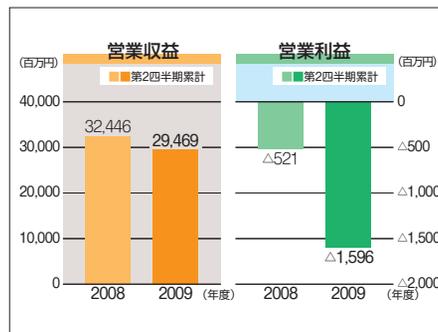
連結対象会社 6 社

主要な会社 阪急阪神ホテルズ、阪神ホテルシステムズ等

ホテル事業では、「定額給付金フェア」等のキャンペーンを実施するとともに、インターネットを利用した自社宿泊予約サイトの機能向上や英語サイトの構築、ホテルカードの入会キャンペーンに取り組むなど、積極的な販売促進活動及び営業力の強化に向けた施策を推進いたしました。

しかしながら、景気低迷の影響により需要が減少したことに加え、新型インフルエンザの影響により、特に近畿圏のホテルにおいて予約キャンセルが相次いだことから、大幅な減収となりました。

これらの結果、営業収益は 294億69百万円と前年同期に比べ29億76百万円減少し、営業損益は 15億96百万円の損失と前年同期に比べ 10億74百万円悪化いたしました。



7

流通事業

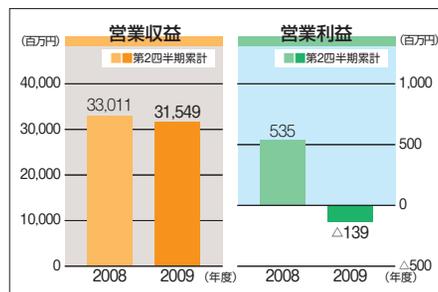
連結対象会社 4 社

主要な会社 阪急電鉄、阪急リテールズ等

物販事業では、首都圏において、書店「ブックファースト 北千住店」を出店したほか、当社グループの沿線においても、阪神野田駅に同「ブックファースト 野田アプラ店」、北大阪急行の千里中央駅に化粧品・服飾雑貨店「カラーフィールド 千里中央店」を出店するなど、積極的な店舗展開を図りました。

また、4月から阪急・阪神がそれぞれ展開していたコンビニエンスストア事業を統合するとともに、ストアブランドを「アズナス」に統一いたしました。

しかしながら、前連結会計年度まで流通事業に含めていた連結子会社 1 社を、第 1 四半期より「都市交通事業」として取り扱ったことに加え、景気の低迷や新型インフルエンザの影響等により、営業収益は 315億49百万円と前年同期に比べ 14億61百万円減少し、営業損益は 1 億39百万円の損失と前年同期に比べ 6 億74百万円悪化いたしました。



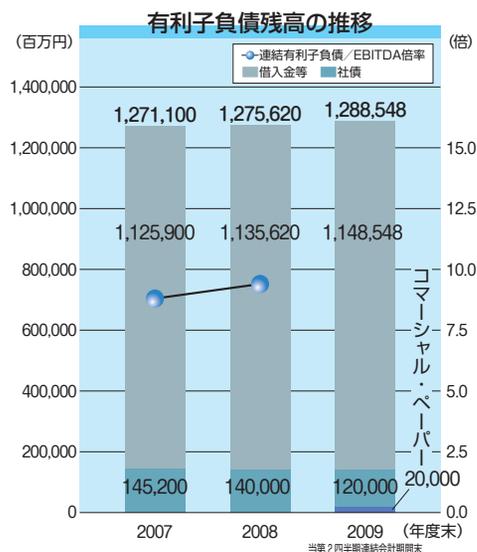
(注) セグメント別営業成績のグラフは、セグメント間の内部取引等を含めた金額を記載しております。

▶ 連結有利子負債

当第2四半期連結累計期間は、受取手形及び売掛金の回収並びに営業キャッシュフロー等により有利子負債の圧縮に努めましたが、設備投資や神戸高速鉄道(株)の連結子会社化等に伴い有利子負債が増加したため、当第2四半期連結会計期間末の連結有利子負債残高は1兆2,885億48百万円となり、前連結会計年度末に比べて129億27百万円増加いたしました。

なお、当社グループでは、連結有利子負債を収益力に見合った水準まで圧縮することを基本方針としており、財務の健全性を示す指標の一つである連結有利子負債/EBITDA(償却前営業利益)倍率を、2012年度には7倍程度とすることを目標に挙げております。

※前連結会計年度より、会計基準の変更に伴い、連結有利子負債残高にリース債務を含めております。
 ※当社グループでは、EBITDAを(営業利益)+(減価償却費)+(阪急・阪神の統合に伴うのれん償却額)として算出しております。



▶ 2009年度連結業績予想の修正について

当社グループでは、今後も増収施策を講ずるとともに、経費等の抑制に努めてまいります。雇用情勢の悪化や個人消費の低迷など外部環境は引き続き厳しいと予想されること等から、都市交通事業、旅行・国際輸送事業、ホテル事業等において今後も厳しい状況で推移するとみており、それらを踏まえて通期の連結業績予想につきましては、下表のとおり7月に発表した予想数値を下方修正いたしました。

なお、配当につきましては、従来の予想どおり期末に一株当たり5円をさせていただく予定です。

2009年度連結業績予想の修正(2009年4月1日~2010年3月31日)

(単位: 百万円)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|--------------------|---------|--------|--------|--------|------------|
| 2009年7月30日発表予想(A) | 684,000 | 70,000 | 46,000 | 13,000 | 10円30銭 |
| 2009年10月29日修正予想(B) | 666,000 | 65,000 | 43,000 | 10,000 | 7円93銭 |
| 増減額(B-A) | △18,000 | △5,000 | △3,000 | △3,000 | — |
| 増減率(%) | △2.6 | △7.1 | △6.5 | △23.1 | — |
| (ご参考)前期実績 | 683,715 | 77,823 | 57,445 | 20,550 | 16円28銭 |

(注) 上記の業績予想は、2009年10月29日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

梅田阪急ビル 百貨店 I 期棟竣工

阪急電鉄(株)では、2012年春のグランドオープンを目指して、梅田阪急ビル(阪急百貨店うめだ本店)の建て替え工事を進めておりますが、先般、1工区(南側)の低層部が竣工し、9月3日より阪急百貨店がI期棟での営業を開始いたしました。

当日は開店前に約3,000名ものお客様が訪れ、通常午前10時の開店時間を15分繰り上げてオープンいたしました。

今回オープンしたのは、地下2階地上12階で売場面積は約27,000㎡。地下2階から地上1階までを食料品、地上2階から12階までを婦人服・雑貨等の売場とし、日本初の話題のラグジュアリーブランドを導入するなど、魅力的なフロア構成になっておりますので、引き続きご利用・ご愛顧の程、よろしくお願いいたします。

なお、1工区高層部の賃貸オフィス部分につきましては、来年4月の竣工を目指して工事を進めております。

また、百貨店II期棟となる2工区(北側)の工事にも既に着手しておりますが、それに伴い、工事中の安全確保のため、旧ビル内及び周辺の歩行者通路の一部を閉鎖・縮小させていただいております。2012年のグランドオープンまで皆様には大変ご不便をお掛けいたしますが、何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。



新「梅田阪急ビル」の概要

| | |
|------|--|
| 敷地面積 | 約17,465㎡ (阪急グランドビルを含む) |
| 延床面積 | 約252,000㎡ |
| 階数 | 地下2階、地上41階 |
| 高さ | 約187m |
| 施設構成 | <ul style="list-style-type: none">●百貨店、コンコース(低層部) 地下2階～地上13階 延床面積：約150,000㎡ (売場面積：約84,000㎡)●オフィス(高層部) 地上15階～41階 (15階：スカイロビー) 延床面積：約102,000㎡ |



9月3日、阪急百貨店 I 期棟 オープン当日の様子



10月1日より、百貨店でも電車でもポイントを進呈する「STACIAポイントサービス」を開始いたしました

当社、エイチ・ツー・オー リテイリング(株)、(株)ベルソナおよび(株)阪急阪神カードでは、10月1日より、各種STACIAカードでの百貨店や電車等のご利用に応じてポイントを進呈する「STACIAポイントサービス」を共同で開始いたしました。

このサービスは、阪急百貨店・阪神百貨店のご利用や阪急電鉄・阪神電車など当社グループの約1,600箇所のサービス・施設・店舗におけるご利用に対して最大3%のポイントを進呈するもので、たまったポイントはSTACIAクーポンや両社グループの様々な商品に交換していただくことができます。

また、両社グループでは、このサービスの開始にあわせて、「阪急阪神エメラルドSTACIAカード」の発行も開始いたしました。

さらに、これまでSTACIAカードのポイント交換サービスとして実施していた「STACIAクーポンへの交換(通年)」や「懸賞コース、チャリティコース(毎年10月1日～12月15日)」に加え、10月1日より、両社グループのバラエティ豊かな商品を取り揃えた「セレクションコース(通年)」をご用意いたしました。

ポイント交換サービスメニューの充実により、たまったポイントを阪急百貨店・阪神百貨店ならではのグルメ商品やサービス、阪急阪神第一ホテルグループのお得なホテルペアディナー券などに交換していただくことができ、ポイントを「ためる」「使う」の両面からお楽しみいただけます。

皆様のご入会、ご利用をお待ちしております。



STACIAポイントサービスの概要

| | |
|-------------|---|
| サービス開始日 | 2009年10月1日 ※2007年10月より実施してまいりました「STACIAポイントUPキャンペーン」は、2009年9月30日をもって終了いたしました。ご利用ありがとうございました。 |
| 対象施設と進呈ポイント | <ul style="list-style-type: none"> ● 阪急百貨店・阪神百貨店でのSTACIAカードのご提示により、3%のポイントを進呈 ※ベルソナSTACIA PiTaPaカード、並びにクレジット機能のないSTACIAカードを除きます。 ※食料品およびクリアランス・バーゲンは1%、特選ブランドなど一部ポイント進呈除外品があります。 ※STACIAカードのクレジット利用に加え、現金や一部商品券・金券のお支払いでもポイントを進呈いたします。 ※ポイント進呈数は税抜きお買上げ商品金額をもとに計算いたします。 ● 阪急電鉄や阪神電車などグループ交通機関でのSTACIAカードのPiTaPa交通利用により、1%相当(ご利用金額100円(含む消費税)ごとに1ポイント)のポイントを進呈 ● 阪急三番街、ハービスPLAZAなど当社グループ約1,600箇所の施設・店舗でのSTACIAカードのクレジット利用により、最大3%相当(ご利用金額200円(含む消費税等)ごとに6ポイント)のポイントを進呈 ● 上記の対象施設以外の国内にあるJCB、VISA、MasterCardの各加盟店でのSTACIAカードのクレジット利用により、0.5%相当(ご利用金額200円(含む消費税等)ごとに1ポイント)のポイントを進呈 ※詳しくは店頭あるいはSTACIAカードのホームページ(http://stacia.jp/)でご確認ください。 |

阪急・阪神ともに、駅のバリアフリー化を進めております

阪急電鉄(株)と阪神電気鉄道(株)では、2009年度も順次駅のバリアフリー化を進めております。

今年度中に両社で完成する予定の主な施設は、右表のとおりです。

| 完成予定の主な施設 | | |
|-----------|---------------------------------|-------------------------------|
| | 阪急電鉄 | 阪神電気鉄道 |
| エレベーター設置 | 石橋駅(2基) 東向日駅(2基) 関大前駅(4基) | 元町駅(1基) 伝法駅(2基) |
| 多機能トイレ新設 | 六甲駅 池田駅 東向日駅 | 王子公園駅 南方駅 南千里駅 |
| | | 出屋敷駅* 尼崎センタープール前駅* 大石駅* |

※改良工事

阪神なんば線が第8回「日本鉄道賞」に選ばれる

本年3月20日に開通した「阪神なんば線」が「鉄道の日」実行委員会(会長：中村英夫 東京都市大学学長)より第8回「日本鉄道賞」に選ばれ、10月14日(「鉄道の日」)に阪神電気鉄道(株)並びに西大阪高速鉄道(株)が表彰されました。

今回の受賞は、阪神なんば線の開通により関西で初めて大手民鉄同士が相互直通運転を行い、大阪の2大繁華街の一つである難波を經由して、ファッションの街神戸と歴史の古都奈良とを結ぶ広域ネットワークを形成するとともに、新駅では大阪市営地下鉄等と連絡し、大阪都心西部の鉄道ネットワークを拡充するなど、関西圏の活性化や利用者利便の向上に大きく貢献したことが評価されたものです。

なお、「日本鉄道賞」は「鉄道の日」創設の趣旨である「鉄道に対する国民の理解と関心」をより深めるとともに、鉄道の今後一層の発展を期することを目的に、鉄道の発展に貢献した鉄道事業者や団体を表彰するもので、2002年に創設されました。



「みんなの暮らし みんなで話そうスクエア」がスタート

阪急不動産(株)では、分譲マンションのご購入を検討されているお客様の様々なお問い合わせに、実際に不動産を購入されたお客様がお答えする企画「みんなの暮らし みんなで話そうスクエア」を、今般、開始いたしました。



具体的には、「ジオラブ倶楽部(同社分譲マンションのご購入をご検討されているお客様からなる会員組織)」の会員様がお住まいを選択する際に「疑問に感じていること」や「誰かに相談してみたいお悩み」などについて、当社グループの分譲マンション・宅地・戸建住宅をご購入いただいたお客様の会員組織「阪急不動産オーナーズ倶楽部」の会員様にお答えいただき、今まで直接聞くことができなかった、購入者による“生の声”をお客様にお届けするという新しいサービスです。

この内容は、ジオラブ倶楽部の会員様向けに発行している会報誌「ゆめひと暮らし」のほか、「ジオ」シリーズマンションのホームページでもご覧いただけます。(http://www.geohankyu.com/square/)

こうした取り組み等を通じて、今後も安心・快適に末永く生活していただける住まいをご提供できるよう努めてまいります。

お問い合わせ

阪急不動産(株) ゆめひと暮らし 編集室
 大阪市北区角田町1-1 東阪急ビルディング内
 TEL 06-6313-3389 受付時間10:00~18:00
 (土・日曜、祝祭日、年末年始等を除く)

阪神本線野田駅高架下商業施設「野田アプラ」がリニューアルオープン



阪神電気鉄道(株)と阪急阪神ビルマネジメント(株)では、阪神本線野田駅の高架下商業施設「野田アプラ」において、「地域生活者と駅乗降客の生活利便性向上」をコンセプトにリニューアル工事を進めておりましたが、先般、工事が完了いたしました。

2009年4月には書店「ブックファースト」、自家製カレー&カフェ「バーゴ」の2店舗が、7月にはカジュアル衣料品店「ユニクロ」やベーカリーカフェ「ヴィ・ド・フランス」、「ドコモショップ」など5店舗が、それぞれ新たにオープンいたしました。

今後も、地域にお住まいの皆様や野田駅ご利用のお客様に、日常的にご利用・ご愛顧いただける施設となるよう努めてまいります。

野田アプラの概要

| | |
|------|--------------------------|
| 所在地 | 大阪市福島区海老江1-1(阪神本線野田駅高架下) |
| 敷地面積 | 3,643㎡ |
| 延床面積 | 3,806㎡ |
| 店舗数 | 18店舗 |

宝塚歌劇 2010年上半の公演ラインアップを発表

宝塚歌劇では、2010年上半に上演する公演ラインアップを発表いたしました。

主なものとしては、赤十字思想誕生150周年を記念し、赤十字思想の生みの親であるアンリー・デュナン^{アンリー・デュナン}の生涯を舞台化した作品『ソルフェリーノの夜明け』を雪組が上演するほか、宝塚歌劇史上初の一本立てミュージカルとして1951年に初演され、通算公演回数345回、94万人の観客動員を誇る『虞美人』を1974年以来36年ぶりに新たな演出で花組が再演するなど、宝塚歌劇ならではの華やかでドラマティックな演目をお届けいたします。

このほか、テレビ朝日・東映制作でシリーズ化されている人気刑事ドラマ『相棒』の舞台化作品を年末年始にシアター・ドラマシティ(大阪市北区)で、2010年1月に日本青年館(東京都新宿区)で、花組が上演いたします。

| 2010年上半 公演ラインアップ | | | |
|------------------|---|-----------------------|--------------|
| 公演組 | 作品名 | 宝塚大劇場 | 東京宝塚劇場 |
| 宙組 | NTT東日本・NTT西日本フレッツシアターミュージカル「カサブランカ」 | (2009/11/13) 12/11 | 1/3 2/7 |
| 星組 | ミュージカル『ハブスブルクの宝剣』 グラン・ファンタジー 『BOLERO』-ある愛- | 1/1 2/1 | 2/12 3/21 |
| 雪組 | 宝塚ミュージカル・ロマン『ソルフェリーノの夜明け』 -アンリー・デュナンの生涯- ショー・グランデ カルネヴァレ 『Carnevale 睡夢』-水面に浮かぶ風景- | 2/5 3/8 | 3/26 4/25 |
| 花組 | ミュージカル『虞美人』-新たなる伝説- | 3/12 4/12 | 4/30 5/30 |
| 月組 | ミュージカル スカーレット・ピンパーネル 『THE SCARLET PIMPERNEL』 | 4/16 5/17 | 6/4 7/4 |

お問い合わせ

宝塚歌劇インフォメーションセンター
☎0570-00-5100(営業時間10:00~17:00 水曜日定休)
<http://kageki.hankyu.co.jp>(宝塚歌劇公式ホームページ)

阪神甲子園球場の「銀傘」に 太陽光発電設備を設置



阪神甲子園球場では、本年3月に球場本体のリニューアル工事が完成し、来年3月には外構工事や甲子園歴史館の開設も含めたすべてのリニューアル工事が完了する予定です。

同工事では「環境への配慮」をテーマの一つに掲げており、これまでも井戸水・雨水の利用やツタの再生による壁面緑化等に取り組みでまいりましたが、今般、さらなる取り組みとして、球場の名物とも言える、内野席を覆う大屋根「銀傘」に太陽光発電設備を設置することといたしました。

太陽光発電はCO₂を排出しない発電方式であるため、同設備を使用することで、下表のとおり火力で発電した電気を利用する場合よりCO₂排出量を削減することが可能となります。

| 太陽光発電設備設置の概要 | |
|-----------------------------------|---|
| 推定発電電力量 | 年間約193,000kWh 阪神甲子園球場で行うナイトゲームにおけるナイター照明の年間使用電力量 ^{*1} に相当 球場全体の年間使用電力量 ^{*2} の約5.3%に相当 ^{*1} 年間ナイターを54試合開催し、1試合当たり3.3時間点灯するとして計算 ^{*2} 2008年度実績を基に計算 |
| CO ₂ 削減量 ^{*3} | 年間約133t ^{*3} 火力電源係数0.69kg-CO ₂ /kWhを基に計算 |
| 稼動開始 | 2010年3月(予定) |

阪急阪神エクスプレスが誕生

当社グループの国際輸送事業は、2008年4月以降、中間持株会社である(株)阪急阪神交通社ホールディングスのもと、(株)阪急エクスプレスと阪神エアカーゴ(株)が並列の関係で事業を営んでおりましたが、今般、2009年10月1日に、両事業会社が合併し、新たに(株)阪急阪神エクスプレスが誕生いたしました。

同事業では、この再編を通じて、より大きな統合効果を発現させるとともに、将来的にシェアを拡大させることを目指してまいります。

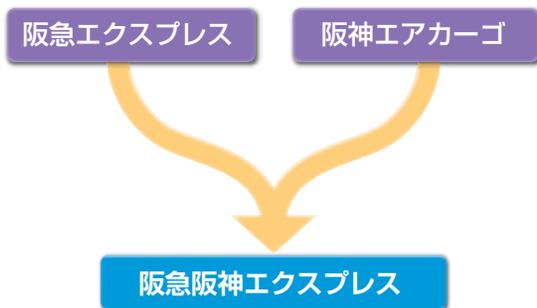
再編の目的

- 合併によるスケールメリットの創生と業界地位の向上
- 国内拠点拡充によるサービスレベル向上とシェア拡大
- 海外拠点統合による経営資源の有効活用と新規有望市場への投入

合併後の事業会社の概要

| | |
|---------|-------------------------|
| 商号 | 株式会社阪急阪神エクスプレス |
| 事業内容 | 国際輸送事業 |
| 所在地 | 大阪市北区西天満6-4-18 |
| 代表者 | 代表取締役社長 小島 弘 |
| 資本金 | 360百万円 |
| 株主・持株比率 | 株式会社阪急阪神交通社ホールディングス100% |

再編図



阪急交通社が第16回ツアーオブザイヤーの国土交通大臣賞並びに市場拡大貢献部門グランプリを受賞

(株)阪急交通社のツアー「日本航空チャーター直行便利用 超大型豪華客船『サファイア・プリンセス号』の旅 ゆったり優雅な夏のアラスカクルーズ」が、第16回ツアーオブザイヤーの国土交通大臣賞並びに市場拡大貢献部門



グランプリを受賞いたしました。

同ツアーは、2008年7月に催行(募集人員350名で発売)した初回のツアーが地方(福岡)発着にもかかわらず即日完売し、150名ものキャンセル待ちのお客様が出るという反響でした。これを受けて、急遽8月に催行した大阪発のツアーでも、412名のお客様にご参加いただき、さらに2009年には、福岡・大阪・名古屋・東京発の計4本のツアーを催行し、総計6本のツアーに1,750名のお客様にご参加いただきました。

「ツアーオブザイヤー」は、企画力に優れた旅行商品の造成と推進を目的に、毎年、海外旅行部門ではパッケージ旅行企画部門、市場拡大貢献部門、Destinyネーション開発部門、ニューツーリズム開発部門の4部門からそれぞれ1商品ずつが、また国内旅行部門からは1商品がグランプリ賞に選出され、その中から最優秀のツアーに対して国土交通大臣賞が贈られます。同ツアーは、日系航空会社や長崎生まれの船を使ってお客様への訴求力を高めるなど、企画者が綿密にプランニングしており、「クルーズの潜在需要を掘り起こし、消費者にもクルーズを身近に感じさせた」として、高い評価を受けました。

9月3日、阪急三番街BIG MAN前に「パティスリー プルミエ 宝塚ホテル」がオープン



(株)阪急阪神ホテルズでは、9月3日に、「宝塚ホテルケーキショップ」の新店舗「パティスリー プルミエ 宝塚ホテル」を阪急梅田駅1階中央コンコースの大型映像装置BIG MAN(ビッグマン)前(阪急三番街南館1階)にオープンいたしました。

創業1926年から受け継がれ、お客様よりご好評をいただいている「宝塚ホテル伝統の味」を、ホテルパティシエによる「卓越した技」で改良し、新しく生まれ変わったプレミアムスイーツの数々を販売しております。

また、同店のショーウィンドウでは、パティシエによるスイーツのデコレーションの実演もご覧いただけます。

| 「パティスリー プルミエ 宝塚ホテル」の概要 | |
|------------------------|---|
| 店舗名称 | パティスリー プルミエ 宝塚ホテル |
| 所在地 | 大阪市北区芝田1-1-3 阪急三番街南館1階 |
| 電話番号 | 06-6376-1005 |
| 店舗面積 | 約46㎡ |
| 営業時間 | 10:00~21:00 |
| 販売商品 | フレッシュケーキ、パームクーヘン、ドーナツ、フィナンシェ等を中心におよそ100種類 |

阪急阪神第一ホテルグループ「2010年おせち料理」ご予約承り中



※写真はイメージです。

阪急阪神第一ホテルグループの各ホテルでは、2010年おせち料理のご予約を承っております。

料理のプロが手がけ、新年の食卓を飾るホテルならではの華やかなおせち料理です。

いずれも数に限りがありますので、お早めにご予約をお願いいたします。

詳しくは、阪急阪神第一ホテルグループのホームページをご覧ください。

[\(http://www.hankyu-hotel.com/osechi2010/\)](http://www.hankyu-hotel.com/osechi2010/)

| ホームページ掲載ホテル | |
|-------------|--|
| 東北エリア | モンタナリゾート |
| 関東エリア | 第一ホテル東京 第一ホテル東京シーフォート 東京新阪急ホテル築地 吉祥寺第一ホテル |
| 中部・北陸エリア | 第一イン新湊 |
| 近畿エリア | ホテル阪急インターナショナル 大阪新阪急ホテル ホテル阪神 千里阪急ホテル ホテル阪急エキスポパーク 宝塚ホテル 六甲山ホテル 大阪第一ホテル 京都新阪急ホテル |
| 中国・四国エリア | 呉阪急ホテル 高知新阪急ホテル 東京第一ホテル松山 今治国際ホテル |

流通事業

カラーフィールドの「ココエあまがさき店」、「西神中央店」がオープン



カラーフィールド ココエあまがさき店

(株)阪急リテールズでは、10月20日に「カラーフィールド ココエあまがさき店」をオープンいたしました。同店が入居する大型商業施設COCOE(ココエ)は、JR尼崎駅に直結しており、仕事帰りや休日のショッピングに大変便利です。

また、11月18日には神戸市営地下鉄西神中央駅前の商業施設PLENTY(プレんティ)に「カラーフィールド 西神中央店」をオープンいたしました。

「ココエあまがさき店」の概要

| | |
|------|--------------------|
| 店舗名称 | カラーフィールド ココエあまがさき店 |
| 所在地 | 尼崎市潮江1-3-1 COCOE1階 |
| 電話番号 | 06-6470-3525 |
| 店舗面積 | 134㎡ |
| 営業時間 | 10:00~21:00 |
| 定休日 | 年中無休(COCOEに準じる) |

「西神中央店」の概要

| | |
|------|--------------------------------|
| 店舗名称 | カラーフィールド 西神中央店 |
| 所在地 | 神戸市西区梶台5-6-1-505 プレんティ専門店二番館1階 |
| 電話番号 | 078-990-1730 |
| 店舗面積 | 105㎡ |
| 営業時間 | 10:00~21:00 |
| 定休日 | 年中無休(プレんティに準じる) |

「PLUM CUBE」冬のリニューアル!



※写真は11月現在のものです。

(株)阪急リテールズでは、本年6月より阪急梅田駅2階中央改札内の店舗で、4つのショップが期間限定で入れ替わる新しいスタイルのスイーツショップ「PLUM CUBE(プラムキューブ)」を展開しております。

この12月1日からは、夙川の手づくりスイーツ「オ・タンブル・デュ・グゥ」、チョコレートの「サロンド ロワイヤル」、幅広いスイーツを展開する「きむら菓子製作所」、吉野本葛の老舗「天極堂」の4店が出店いたしました。

PLUM CUBEは、マスコミにも取り上げられるなど、注目度が高まっており、9月からはPLUM CUBE全ショップ共通でお使いいただけるポイントカードも発行しております。また、夜遅い時間まで営業するなど、仕事帰り等のご利用にも大変便利です。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

「PLUM CUBE」の概要

| | |
|------|--------------------------------|
| 所在地 | 大阪市北区芝田1-1-2(阪急梅田駅2階中央改札内) |
| 店舗面積 | 94㎡ |
| 営業時間 | 平日 10:30~22:30 土日祝 10:00~22:00 |
| 定休日 | 不定休 |

2010年 早春展「呉春筆白梅図屏風 — 円山四条派の絵画 —」

会期 2010年1月16日(土)～3月7日(日)

このたびの早春展では、呉春筆「白梅図屏風」を2年ぶりに展示いたします。寒中に花を咲かせる清楚で力強い梅を描いた本作品は、江戸時代の画家・呉春の代表作であり、日本美術史上、大変貴重な作品です。

同展示では、呉春のほかの作品や、呉春の友である円山応挙をはじめ、円山四条派の画家たちの作品もご覧いただけます。



白梅図屏風

お問い合わせ 財団法人逸翁美術館 ☎072-751-3865 9:30～17:00
<http://www.itsuo-museum.com/>

| | |
|------|-------------------------|
| 開館時間 | 10:00～17:00(入館は16:30まで) |
| 休館日 | 毎週月曜日(早春展開催までは休館しています) |
| 所在地 | 大阪府池田市栄本町12-27 |
| 交通 | 阪急電鉄宝塚線「池田駅」下車、北へ徒歩10分 |



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

◆ 環境保全への取り組み

去る11月6日、阪急電鉄(株)が昨年12月から本年7月まで運行した環境メッセージ列車「エコトレイン 未来のゆめ・まち号」が、「第11回 グリーン購入大賞(主催：グリーン購入ネットワーク、後援：環境省、経済産業省など)」において、最高の賞となる「環境大臣賞」を受賞いたしました。



◆ 「グリーン購入大賞」とは

環境に配慮した製品やサービスを優先的に購入する「グリーン購入」の普及拡大に取り組む団体・企業を顕彰することにより、一層の取り組みを奨励するとともに、活動事例の紹介を通じてグリーン購入を普及することを目的とした制度で、1998年に設けられました。

当社グループでは、以下のとおり、過去2回受賞しており、今回が3回目の受賞になります。

● 第9回(2007年) 審査員特別賞

阪急阪神ホールディングス グループ全体でのグリーン購入推進の取り組み

● 第10回(2008年) 審査員奨励賞

阪急交通社 環境配慮に取り組むホテル・旅館専用の予約サイト「エコ泊」の立上げ

◆ 受賞理由

ご乗客に環境問題を分かりやすく伝え、グリーン購入等、一人ひとりがすぐに行える環境保全の行動を呼びかける取り組みとして、特に以下の点が評価されました。

- 関西の主要都市を結ぶ電車全体をメディアとして活用し、8か月の長期間にわたって環境啓発のメッセージを多くの方へ発信し続けたこと
- NPO法人 環境市民の企画・監修を受け、当社グループのみならず沿線の自治体や企業、市民の環境への取り組みを発信することによって、セクターを越えた協働を行ったこと
- 動植物や我々の生活に与える地球温暖化の影響に関する情報のほか、グリーン購入のすすめ、こどもの環境絵画コンテストなど、環境についての幅広いテーマを工夫して発信したこと

当社グループでは、今後も事業活動や社会貢献活動等を通して、環境に配慮したまちづくりに取り組んでまいります。

※当社グループの環境保全活動はホームページでご覧いただけます。 <http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/eco/>

株主メモ

■ 決算期

3月31日

■ 定時株主総会

6月

■ 基準日

定時株主総会権利行使株主確定日 3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

■ 単元株式数

1,000株

■ 株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

■ 同連絡先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

TEL. 0120-094-777 (通話料無料)

■ 公告掲載新聞

日本経済新聞

単元未満株式(1~999株)をご所有の株主の皆さまへ

次のいずれかの方法により、ご所有の単元未満株式を整理していただくことができます。なお、単元未満株式が特別口座で管理されている場合、手数料は無料です(証券会社で管理されている場合の手数料は、各証券会社にお問い合わせください)。

1. 買取請求

ご所有の単元未満株式の市場価格での買取りを請求していただく制度です。→ご所有の単元未満株式がなくなります。

2. 買増請求

ご所有の単元未満株式を単元株(1,000株)にするために必要な株数を市場価格で買い増していただく制度です。→ご所有の単元未満株式が単元株となります。

株主優待方法

2009年12月現在

| 優待内容 優待基準株数 | 株主優待回数乗車証 (阪急・阪神共通回数カード) | 株主優待乗車証 (全線バス) | グループ 優待券 |
|--------------------------------|--|---------------------------------|-------------|
| 1 ~ 999 | — | — | 1冊 |
| 1,000 ~ 2,399 | 4回カード×1枚 (4回乗車分) | — | |
| 2,400 ~ 4,999 | 4回カード×3枚 (12回乗車分) | — | |
| 5,000 ~ 9,999 | 25回カード×1枚 (25回乗車分) | — | |
| 10,000 ~ 30,999 | 30回カード×2枚 (60回乗車分) | — | |
| 31,000 ~ 48,999 ※①②のいずれかを選択 | ①30回カード×2枚 (60回乗車分) ②10回カード×1枚 (10回乗車分) | — | |
| 49,000 ~ 79,999 ※①②のいずれかを選択 | ①10回カード×1枚 (10回乗車分) ②10回カード×1枚 (10回乗車分) | 阪神電車全線バス1枚 | |
| 80,000 ~ 999,999 | 10回カード×1枚 (10回乗車分) | 阪急電車全線バス1枚 + 阪神電車全線バス1枚 | |
| 100万以上 | 10回カード×1枚 (10回乗車分) | 阪急電車全線バス10枚 + 阪神電車全線バス10枚 | |

- 1) 阪急電車全線バスの通用区間：阪急電車線全線(神戸高速線を除く)
- 2) 阪神電車全線バスの通用区間：阪神電車線全線(神戸高速線を除く)
- 3) 共通回数カードの通用区間：阪急電車線及び阪神電車線全線(神戸高速線を除く)
- 4) グループ優待券：ホテル宿泊割引券、ホテル飲食割引券、旅行割引券、入場券など
- 5) グループ優待券のご利用範囲につきましては券面をご参照ください。
- 6) 優待につきましては、9月30日、3月31日の株主名簿に基づき、それぞれ11月下旬、5月下旬に発送いたします。(年2回)

株式のお手続きに関するお問い合わせ先

| 手続の内容 | 株式口座の開設先 | 証券会社 | 特別口座(※) |
|-------------------------|----------|------------|----------------------------------|
| 住所変更、単元未満株式買取請求等の各種お手続き | | 口座開設先の証券会社 | 三菱UFJ信託銀行株式会社(口座管理機関) 大阪証券代行部 |
| 特別口座から証券会社の口座への振替請求 | | — | TEL. 0120-094-777 (通話料無料) |

※2009年1月5日の株券電子化時に、株券をお手元に保管されていた株主様の株式(登録株を含む。)につきましては、特別口座で管理されております。特別口座で管理されている株式につきましては、一般口座にお振替いただくことができます。三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部までお問い合わせください。

発行：阪急阪神ホールディングス株式会社

〒530-0012 大阪市北区芝田一丁目16番1号 TEL 06-6373-5100 FAX 06-6373-5670

当社グループの経営につきまして、株主様のご意見・ご感想をお待ちしております。 <http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/voice/>

株主通信は、環境に配慮し、植林木・無塩素漂白で製造された用紙と、大豆油インキを使用しております。

